

民主化闘争情報

No. 1004

2018年7月30日

発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

7月25日、JR連合に加盟するジェイアール・イーストユニオン（JREユニオン）は、新潟地本において主任職1名を組織拡大した。スト権行使に端を発した大量脱退の流れの中で、JR東労組から脱退し組合未加入となっていたが、日頃の世話役活動によって仲間として加わることを決断した。JREユニオン新潟地本は、7月28日に第6回定期大会を開催し、この組織拡大を組合員らに報告した。新潟地本では、昨年のJR採用者に続く加入であり、先の東京と仙台における組織拡大とともに、JREユニオンへの結集に向けた大きな流れにつながりつつあることの証左と言える。

ジェイアール・イーストユニオン

東京と仙台に続いて世話役活動の成果が実る

新潟地本で1名の組織拡大！

JR東労組新潟地本の組合員数は約2800名から、すでに200名程度にまで激減したが、一方で、元JR東労組新潟地本の組合役員らが主導し「JR東日本新潟労働組合」なる新労組を結成した模様である。また、今年3月には大宮総合車両センターなどの車両系職場で結成された「JR東日本新鉄道労働組合（新鉄労）」なる新労組は、当初の400名程度に留まっている状況である。さらに、高崎では、JR労研の主導で「JR東労働組合（JRひがし労）」なる新労組が結成されている実態も判明するなど、新労組が乱立している。組合未加入者が3万を大きく超える中、JR東日本においてはますます混沌としている。

全組合員で組織拡大を加速させ、民主化闘争の完遂をめざす！

JREユニオンは、結成以来、一貫してJR東日本で働く者のため、会社発展のために民主的労働運動の必要性を訴え、「るべき労働組合像・労使関係像」を構築していくかなければ、真の健全な企業内労働組合は確立できないと主張している。

JR連合・JREユニオンは、引き続き、働く者の明るい未来を創造するために、多くの仲間に結集を呼びかけ続け、すべてのJR連合運動を組織強化・拡大に帰結し、民主化闘争完遂・JR労働界の一元化にむけ、大きなうねりを創り出していく！

今こそJR連合・JREユニオンに結集しよう！

自らの明日を共に切り拓こう！